YONEMORI TIMES
Vol.91 2025.3.10 発行



総務部
岩渕 理絵

２０１２年に派遣社員として株式会社ヨネモリに入社した岩渕理絵。２０１５年に正社員となり、現在は総務部と情報システム室の仕事を兼務している。入社12年目を迎えた岩渕に、これまでの経緯や現在の業務、今後の目標について話を伺い、その魅力に迫る。

ヨネモリとの出会い

高等専門学校の電気科を卒業した後、岩渕が最初に就職したのは通信業界だった。実践でパソコンスキルを磨き、ステップアップを目指して職業訓練校にも通った。そしてホームページ製作の仕事をしながら、プライベートでは結婚、出産を経て充実した日々を過ごしていた。

転機となったのは、夫の単身赴任。自身もしっかりフルタイムで働こうと決意し、出会ったのがヨネモリだった。当時、２人の子どもはまだ未就学児。仕事をしながら家事・育児をひとりで行う必要があったため、自宅から近く、通勤時間が短いことも入社の決め手となり、ヨネモリの仲間入りを果たした。

多岐にわたる総務の仕事

入社後、配属されたのは総務部だった。主な業務は、会社全体がうまく回るように社員をサポートすること。以前の職場では、現場を仕切る立場を担っていたため、サポート業務は初めての経験だった。実際に働き始めてみると、総務の仕事の楽しさを知る。「助かったよ」「ありがとう」と言葉をかけられると嬉しくなり、もっと頑張ろうという気持ちが湧いてくるのだ。

とはいえ、仕事はサポート業務だけではない。社内行事の企画・運営も総務部の仕事だ。岩渕は現在、毎年１月に行われる新年会の運営を任されている。ヨネモリの新年会は、協力会社や関東工場の社員も参加する大規模な行事で、前年の11月から準備がスタートする。会場となるホテル担当者との打ち合わせや予算交渉など、日頃のサポート業務とは違った積極性や主体性が求められるため、とても勉強になると感じている。

「予算交渉などは、先様のご事情を考慮したうえで、こちらの希望もしっかりお伝えして相談していきます。この仕事を通して、話の切り出し方、適切な言葉の選び方など細かな部分に気を配りつつ、要望を実現していくスキルが身についたと思います」。

もともと人前で話すことが得意な岩渕は、司会進行役も担当。それ以後、社内のバーベキューやボウリング大会でもその役割を任されている。フォーマルな会では粛々と、親睦会では場を盛り上げるよう、場に応じた進行を心がけている。

失敗経験を乗り越えて

前向きに業務に取り組む岩渕だが、入社当初は失敗も多かったという。当時担当していた社員日報の仕事は、専門的な記述もあり、入社まもない新人には難しい部分もあった。しかし、冷静になれば容易に気づけたはずのミスを繰り返し起こしてしまったことも。自分のミスを受けて、教育係をしてくれていた先輩が、何度も指導を受けていたと知ったときは、申し訳なさと情けなさで胸がいっぱいになった。先輩が自分の代わりに注意されている姿を見て、もう二度とミスはしないと強く決意した。

そこからは、単純ミスをゼロにすべく、セルフチェックを強化。専門的な内容は自ら積極的に確認し、同じ質問をしないよう頭に叩き込んでいった。このようにして、ミスを減らし、自らの失敗を自身のスキルアップにつなげてきたのだ。

今後の目標に向かって

現在の目標は、社員から頼られる存在になること。特に、得意分野であるパソコンについては、社内で一番信頼される存在になりたいと考えている。

「マイクロソフト オフィス スペシャリスト（ＭＯＳ）」は、社内でいち早く取得。業務で必要なエクセルとワードに加え、自費でもう1科目追加受験して見事合格し、一般レベルから上級レベルまでの総合的なスキルを証明する「MOS Expert」の称号も手にすることができた。

「得意な分野はどんどん伸ばしていきたいと考えています。パソコンのことなら岩渕に聞け、と言っていただけるよう、これからも日々アンテナを張り巡らせ、新しい情報を収集していきたいと思います」。

これまでの経験を活かし、サポート業務から企画運営、パソコンのスペシャリストなど幅広い分野で活躍している岩渕。次なる目標に向かって歩み続ける姿に期待が高まる。



▲毎年器選びから盛り付けまで楽しんでいるおせち

企業情報

◆創 業 年：1918 年 5 月（大正 7 年）
◆設 立 年：1968 年 5 月（昭和 43 年）
◆年　　商：7041 百万円（令和 6 年 3 月）
◆従業員数：114 名（令和 6 年 3 月）

岩渕さんへのメッセージ

仕事の頼もしさはもちろん、その明るさや気遣いで周囲を元気にしてくれる岩渕さん。そのお人柄を清水さんと牧野さんにお伺いしました。



営業部
清水（しみず） 章代（ふみよ）さん

尊敬しているところ

豊富な知識で様々な部署から頼りにされ、いつも忙しそうな岩渕さん。どのような場面でも笑顔で対応する姿が素晴らしく、尊敬せずにいられません。ついつい甘えてしまい、私も「岩渕さ～ん」と声を掛けてしまいます。

Message

仕事や子どもの話を聞いて、共感してくださってありがとうございます。「わかるよ」の一言に何度も励まされました！



株式会社石川検査
牧野（まきの） 多貴子（たきこ）さん

尊敬しているところ

電話応対では明るくハキハキと好印象。会話のテンポが良いだけでなく機転も利くなど、私の方が年上なのに尊敬しています。また、会社の行事で司会進行をそつなくこなす姿に毎回感心しています。

Message

お会いするとフレンドリーにお話してくださり、そのポジティブなオーラに包まれるだけで気持ちがリセットされます。まさに「心の処方箋」のような存在です。時間ができたら、ぜひゆっくりとお茶しましょう。

私のおすすめ！ お気に入りの○○

前回の松浦さんからバトンを受け取ったのは、同じ関東工場の江田さんです！30年続けているという○○とのもふもふライフは、江田さんの暮らしに彩りと癒しを与えているようです。可憐で気高い写真にも、ぜひご注目ください。



関東工場
江田（えだ） 勝也（かつや）さん

おすすめしたい「私の○○」



猫

皆さんへのオススメコメント

餌やトイレなどの準備は大変かもしれませんが、おもちゃで遊んだり、おやつを美味しそうに食べたりしているのを見ていると、とても癒されます。猫に限らず、ぜひ何かペットを飼ってみてはいかがでしょうか。

猫のいる生活を続けて早30年になりました。これまで4匹の猫を飼ってきましたが、どの猫も違った個性があり、かけがえのない思い出になっています。写真の猫の名前は「ナナチ」です！

次にオススメを伺いたい方は……
中田（なかた） 洋二（ようじ）さん

バトンを繋ぐ／ありがとうリレー

天野さんからバトンを受け取った竹村さんに、ありがとうバトンを繋いでいただきました！
柔軟な対応をしてくれるなど厚い信頼を寄せる翫さんへ、感謝のメッセージを送ります。

From 現寸設計部 竹村（たけむら） 洸亮（こうりょう）さん



毎回製作のことで、相談やお願いをするときに頼りにしています。話しかけやすい雰囲気と、なんだかんだ言いつつも「しょうがないなぁ」と、いつも引き受けてくれるので大変助かっています。これからも色々と相談させてください。よろしくお願いします！



To 鉄構部2課 課長 翫（いとう） 貴史（たかし）さん

ヨネモリ川柳

ペンネーム けせらせらさん

こんにちは
笑顔で会釈
だれだろう

眼鏡かけ
さらに拡大
文字サイズ

携帯の
反応鈍く
指にハ～

50代になり日に日に身体の不調が気になるように……。「いつかは通る道」なので、現実に真正面から向き合い、まだまだこれからの人生楽しみます！

建物を支える腕 鉄構部の若手に迫る

入社２年目の二人の若手社員が、それぞれの課題を乗り越え成長を続けています。
彼らのこれからの活躍に、今後もご期待ください！

1 年目に成長したこと

先輩の一言で、「図面の沼」を脱出！

仮付け溶接の際に使う図面を、以前より正確に見ることができるようになりました。私が現在担当しているのは、柱への仮付け溶接。図面の絵や数字を元に、柱のどこに何を溶接するのかを判断しますが、最初は内容が理解できなかったり、柱の向きがわからなくなったりと大苦戦。「図面の沼」に見事にハマった私を救ったのが、先輩の**「図面は常に柱の上から見よう」というアドバイス。**見る位置を決めたことで、柱の向きを見失うことなく正確な位置を把握できるようになりました。まだ完璧ではありませんが、少しずつコツを掴んできたと感じます！



鉄構部 鉄構２課
中（なか） 栄人（はると）さん

ぶ つかった壁

重量物を扱うプレッシャーに圧倒される

クレーンで柱を裏返す作業が苦手でした。柱はビルなどで使われるため相当重量があり、「万が一落としたら」と考えると緊張と不安でいっぱいに……。その際大切にしていたのが、慎重な作業を心がけることです。正直、今でも怖いと思うことはありますが、そのようなときこそ**深呼吸して焦らず行うようにしています。**また安全確認などでサポートしてくれる先輩方も大きな安心要素の1つ。周りの力も借りつつ焦らず丁寧に作業することが、壁突破の秘訣だと思います。

２年目の抱負

仮付け溶接の仕事をマスターすることです。今はまだ、先輩や上司がそばについてくれていますが、２年目では独り立ちが目標！小物などの位置も間違えずに溶接できるよう、図面を見る力をさらに養いたいと思います。





鉄構部 鉄構２課
野寺（のでら） 匠（たくみ）さん

1 年目に成長したこと

「先輩の補助」から独り立ち

私が担当しているのは、建物の柱に部品を取り付ける前の「仮付け」。最初は先輩の補助から始めましたが、少しずつ技術を身につけ、**今では柱を丸ごと１本任されるようになりました。**まだちょっとしたミスもありますが、先輩から教わったことを一つひとつ確実に行うことで、一人で作業ができるようになった部分は成長したと感じています。

ぶ つかった壁

小さな部品の仮付けにも真剣に向き合う

一番難しかったのは**図面の見方。**大学が建築科だったため、図面を見たことはありますが、実際の設計図を目の前にすると、絶対に間違えられないプレッシャーを感じていました。特に仮付けの際に使うブラケットは、建物自体の梁とつなぐ重要な部品。少しでも角度が異なると後工程に影響が出るだけではなく、建物自体が建てられません。上司に言われた**「どんな小さな部品でも、欠けたら建物が立たなくなる」**という言葉を胸に刻みながら、一つひとつの作業に真剣に取り組んでいます。

２年目の抱負



まずは**作業の効率を上げること。**そして「溶接管理技術者」をはじめとする資格の取得に向け、鉄鋼と溶接に関する幅広い知識を身につけたいと思っています！